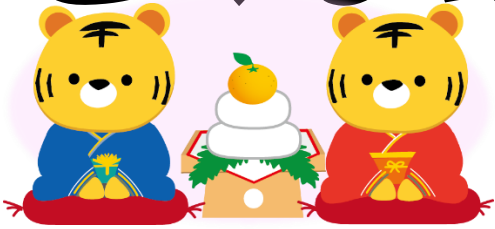


三原市議会議員

まさとき

# とくしげ政時



## 活動報告

令和3年12月議会号(第20号)



令和の三原を元気に！  
責任ある提言と実行！

民間から選出された識見を有する二名の方とともに、昨年5月から本市行政を監督し検査する役目を担う監査委員に就任しました。膨大な文書・帳簿などに目を通す機会・時間が増えた結果、数字を通すことで本市の姿がより鮮明になり、数字を通して状況を把握すること、施策に生かすことの重要性を再認識する日々。そこで今議会では、日頃から気になっていたこともあり、被害が数字として表れる特殊詐欺と交通事故についての質問をいたしました。

とくしげ政時後援会〒723-0064 三原市西宮一丁目15番7号電話番号：0848-62-5804 (ファックス兼)

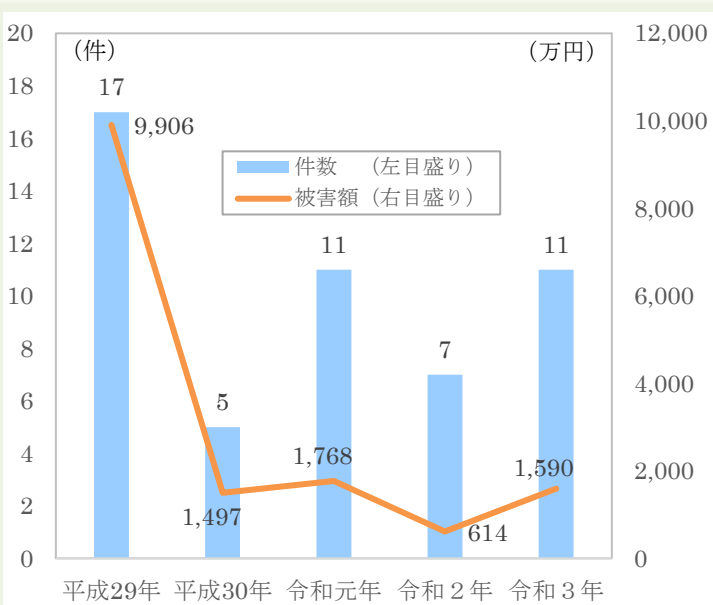


図1. 三原市内における特殊詐欺の認知件数と被害額の推移 (三原警察署まとめ)

答 図1の通りとなっている。

問 ときには本市職員や警察官を名乗る人物により、市民の方が特殊詐欺の被害に遭われている。過去5年間の件数と被害額はどうか。

答 先ずは、特殊詐欺事件に関する質疑を御紹介します。まず、事件・事故の多発する年末年始を目前に控えた議会でもありましたし、『令和3年年末交通事故防止総ぐるみ運動』の期間中でもありましたので、いつ誰が巻き込まれるか分からない特殊詐欺事件と交通事故についての質問をいたしました。



国民の生命と財産を守る責務が国会議員に課されているように、市民の皆さまの生命と財産を守る責務が私たち市議会議員には課されています。

そこで、事件・事故の多発する年末年始を目前に控えた議会でもありましたし、『令和3年年末交通事故防止総ぐるみ運動』の期間中でもありましたので、いつ誰が巻き込まれるか分からない特殊詐欺事件と交通事故についての質問をいたしました。

問 特殊詐欺にはどのような手口があるか。  
答 特殊詐欺の手口には、次のようなものがある。

■ オレオレ詐欺

家族や警察官になりすまして、事件・事故・トラブルに対する示談金などの名目でお金を騙し取る

■ 預貯金詐欺

銀行員や役所の職員になりすまして、キャッシュカードや預貯金通帳などを騙し取り、預貯金を奪う

■ キャッシュカード詐欺盗

警察官や銀行員になりすまして自宅を訪問し、キャッシュカードをすり替えるなどして預貯金を奪う

■ 架空料金請求詐欺

「未払いの料金がある」などと架空の事案を口実に、金銭などを騙し取る

■ 還付金詐欺

役所の職員になりすまして、医療費や保険料などの還付があると偽り、ATMへ誘導して金銭を騙し取る

問 今年度の被害や傾向はどうか。

答 10月末の時点で昨年は発生が無かった『オレオレ詐欺』が3件(被害総額：950万円)、『還付金詐欺』が3件(被害総額：550万円)など、昨年を大幅に上回る被害が発生している。

問 どのような対策を取ってきたか。

答 三原警察署や防犯連合会などと連携し、手口や発生状況などについて、啓発チラシの回覧



問 市民の皆さまが特殊詐欺を身近なものとして捉えることで一層の注意喚起ができるよう、個人が特定されないように十分な配慮をしたうえで、市内で発生した特殊詐欺事件の内容やその後を伝える連載スペースを広報誌に設けてはどうか。

約10年前に警視庁が行った調査によると、特殊詐欺事件の被害に遭った9割以上の人が『自分は大丈夫だと思った』『考えたこともなかった』と回答した(図2) そうです。私も高齢者であり、そう思う中の一人でした。そこで、広報みはらの令和3年12月号に『詐欺被害に遭わないよう一人ひとりが注意しましょう』と注意喚起の文言が掲載されていたことをヒントに、高齢者を中心とした皆さまへ一層の注意喚起を促せるよう、再質問を兼ねた提案をいたしました。



約10年前に警視庁が行った調査によると、特殊詐欺事件の被害に遭った9割以上の人が『自分は大丈夫だと思った』『考えたこともなかった』と回答した(図2) そうです。

● 防犯メールやライン等の配信  
● 告知放送や町内放送  
などを通じて情報を提供し、注意喚起と被害防止に努めている。



「自分は大丈夫」過信禁物 振り込め詐欺被害者像、警視庁分析

2012年10月30日 1:13



「自分は大丈夫」との過信は禁物。振り込め詐欺の被害者像が29日、警視庁が被害者や家族から聞き取り調査した結果で明らかになった。30～50代の息子や孫がいる高齢女性を中心に満遍なく被害に遭っており、家族と同居している人や、周囲が判断力に問題がないとみている人も油断できないという。同庁は「子供と定期的に連絡を取っている人でもだまされる可能性がある」と注意を呼びかけている。

調査対象は(1)オレオレ詐欺(2)還付金詐欺(3)架空請求詐欺(4)融資保証金詐欺――など被害者と対面せずに電話などで金の支払いを持ちかける手口の詐欺。同庁は、今年5～7月に被害届(未遂を含む)を受理した東京都内在住の65歳以上の318人とその家族からの聞き取り結果を分析した。

被害者は81%が女性。全体のうち、一人暮らしは31%で、夫や家族と同居している人が62%だった。独居高齢者が被害に遭いやすいというイメージと異なり、同居親族がいても安心できない実態が明らかになった。

家族への調査では、回答した163人のうち「被害者の判断力や記憶力に問題がないと考えていた」人が71%のぼり、家族が「だまされるかもしれない」と思っていたケースは6%だけ。被害者自身も92%は「自分は大丈夫だと思った」「考えたこともなかった」と回答。過去に同種被害に遭ったことがある人は4%だった。

オレオレ詐欺では、犯人が息子をかたるケースが79%で、孫は11%。被害者の82%は息子や孫が30～50代だった。被害者の57%が1週間から1か月に1回以上、息子らと連絡を取っており、音信不通の人だけが被害に遭うわけではない。

中には、自宅の2階に息子が在室していたにもかかわらず、危うくだまされかけたという女性のケースもあったという。

被害者の45%は「被害防止について家族と話し合ったことがある」と振り返っており、日ごろから注意していた人もだまされていた。

調査結果について、内藤佳津雄・日本大学教授(認知心理学)は「電話の声は聞き取りにくく、いったん親族と思いつくと別人とは考えなくなる」と指摘する。警視庁幹部は「家族との電話の合言葉を決めるなど事前の対策が必要。役所をかたって『お金が戻る』と電話がかかってきたら、100%詐欺と考えてほしい」と注意を促している。

図2. 警視庁による調査について(日本経済新聞より)

三原市メール配信システム

バックナンバー

2021/12/14 17:43 防犯情報

年金支給を狙った特殊詐欺にご注意を!

明日(12月15日)は年金支給日です。年金を狙った特殊詐欺に十分ご注意ください。

- 固定電話への詐欺電話が多発しています。
- 電話でお金の話が出たら詐欺を疑って下さい。
- 市役所職員をかたる介護保険料の還付金詐欺が多発しています。
- ATMで還付金を受け取ることはできません。
- 息子や孫をかたる電話は必ず本人確認をしましょう。

不審な電話やメールがあっても一人で判断することなく、家族や知人に相談するとともに警察へ通報してください。

図3. 特殊詐欺への注意を呼び掛けるメール(三原市メール配信システムより)



私が質問に立った翌週の12月15日は年内最後の年金支給日。前日の14日には、本市もメール配信システムを通じて、特殊詐欺への注意を呼び掛けました。(図3)

答 市の広報誌を活用することは大変有効であると考えるので、特集記事の掲載を検討するなど、引き続き啓発に努める。

問 これまでどのような対応を取ったか、また、今後はどのような対策を取るべきと考えているか。  
答 市民の皆さんが安心して快適・安全に住み続けら

問 過去の5年間の人身事故の件数・死傷者数・死亡者数および物損事故の件数はどうなっているか。  
答 図4の通りとなっている

問 交通事故の発生する原因をどう捉えているか。  
答 脇見による追突事故など運転手の不注意によるものや速度超過、飲酒などの法令違反、無謀運転、天候に起因するもの、また、自転車、歩行者のマナー・ルール違反などさまざまな要因が考えられる。



れるまちとなるよう、三原警察署など関係機関と連携し、各季の交通安全運動における啓発活動・イベントの開催や交通指導員による学校での交通安全教室、通学時の交通指導など、交通事故防止に今後も継続的に取り組む。



私が質問に立つ前日、同僚の政平・新元両議員からも国道185号における安全確保についての質問がありました。

また、これまでも同僚議員からは繰り返し、交通事故の起き難い環境整備を求める質問がありました。

さらに、市民の皆さまからも、

● 見通しが効くよう、街路樹の伐採や剪定

● 道路や歩道の適切な維持管理

● 信号機や交通安全表示など、交通インフラの整備などの要望が前から出され続けていますが、予算などを理由に本市は満足な対応を取れていません。

私たちが市議会議員のもとには、本市の姿勢に対する不満や、早急に取り組んで欲しいとの声が多く寄せられていますので、本市の姿勢を質しました。

**問** 厳しい財政状況下ではあるが、市民の安心・安全を守るための環境整備に本気で取り組む姿勢を予算に反映し、可能な限り応えられないか。

**答** 市道等の安全な通行を確保するため、定期的、緊急的に行うパトロールのほか、市民の皆さまからの通報を受け、路面や道路附属物等の修繕、必要に応じた樹木の伐採などを行っている。

今後とも異常箇所を早期発見、迅速な対応に努め、適切な維持管理を行う。

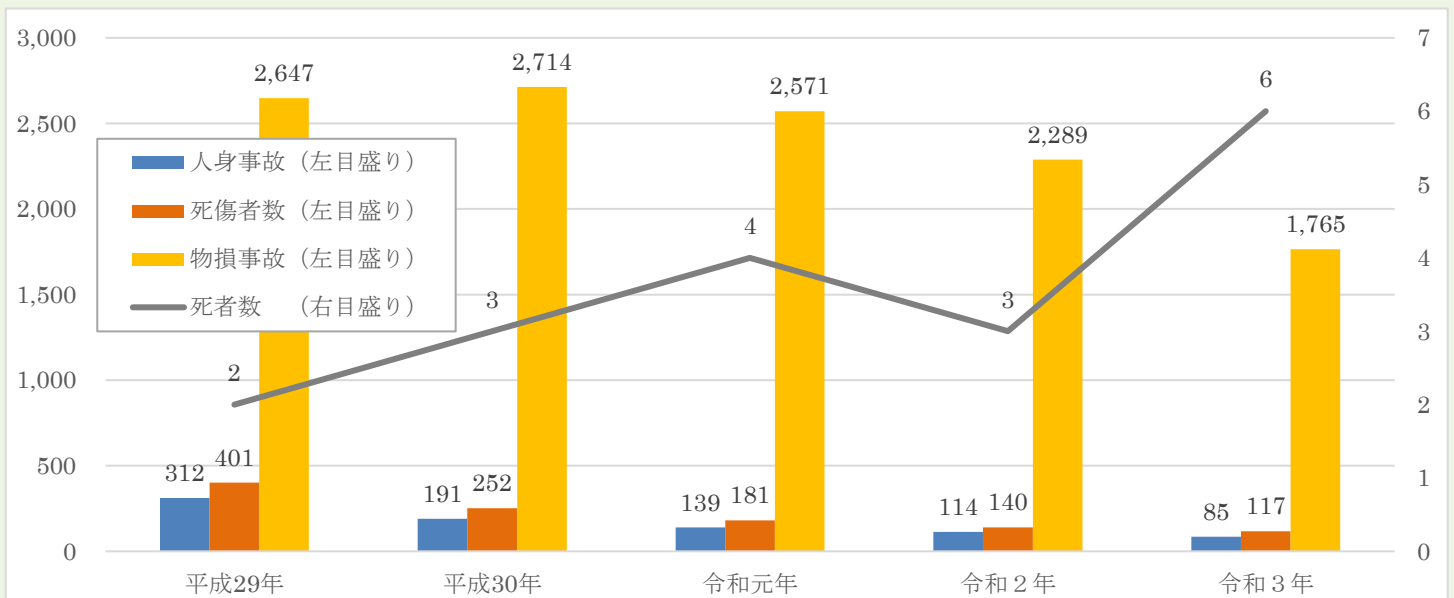


図4. 本市における交通事故の件数・死傷者数・物損事故の件数および死者数の推移(令和3年10月末現在)(三原警察署ホームページより抜粋)



さて、岡田市長は急発進やペダルの踏み間違いによる事故を抑止できる車にするため、例えば広報みはら11月号に大きく掲載された「サポカー装置設置補助金制度(図5)」のような取り組みも始められています。

しかし、本市では9月27日から10月2日までの6日間で2件の交通事故が発生し、2名の尊い命が失われました。

三原署ホームページを確認すると、10月末時点での人身事故は前年に比べて5件少ない85件ですが、死者数は5人も多い6人となっていました。

また、こうした事態を受け、10月6日には岡田市長の談話が添えられた「交通死亡事故多発警報」が出されることとなりました。

しかし、その警報には岡田市長からドライバー、自転車や歩行者および高齢者の方への呼びかけは添えられていましたが、本市が取り組むべき交通事故の起き難い環境整備についての言及がありませんでしたので、今議会の質問のまとめとして、特殊詐欺と交通事故から市民を守る市長の決意を確認しました。

問 就任され1年4ヶ月、課題山積の中を奮闘されて

図5. サポカー装置設置補助金制度(広報みはら11月号より)

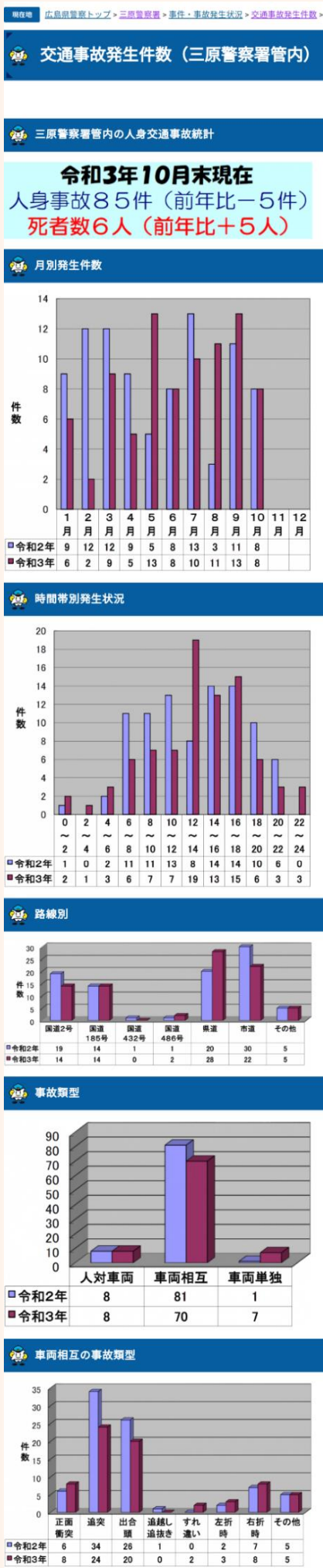


図7. 10月末での人身事故発生状況 (三原警察署ホームページより)

**交通死亡事故発生状況**

日時	場所	状況
1月25日 午前5時55分ころ	県道	関係者が運転する軽四乗用自動車、中央分離帯に衝突
5月20日 午後0時ころ	国道2号線	中型貨物自動車が反対車線にはみ出し、軽四貨物自動車に衝突
7月24日 午後1時25分ころ	県道	T字路交差点で軽四乗用自動車と準中型貨物自動車が衝突
9月27日 午前5時30分ころ	国道185号線	交差点で普通乗用自動車と横断中の歩行者が衝突
10月2日 午後1時30分ころ	県道	普通乗用車の単独事故

図6. 本市における交通死亡事故発生状況(令和3年10月末現在)  
(三原警察署ホームページより抜粋)

例えば交通事故の場合、本市が維持管理を担う道路

害に遭いにくい環境を整備する責務があります。

一方、私たち市議会議員や三原市には、皆さまが被害に遭いにくい環境を整備する責務があります。

統計は過去5年に限られてはいますが、改めて本市の実態を知っていただくことで注意喚起につながり、皆さまの被害を少しでも減らせればと思います。

～ とくしげ政時 後援会入会の御案内 ～

被害を少しでも抑えるために広報誌を有効活用してはどうかと提案したこともあり、皆さまへの注意喚起も兼ねて、質問の際に参考にした資料の中からいくつかを選んで掲載いたしました。

統計は過去5年に限られてはいますが、改めて本市の実態を知っていただくことで注意喚起につながり、皆さまの被害を少しでも減らせればと思います。

～ 編集後記 ～

また、交通事故の件数は年々減少しているが、今年はまだ6名の方が亡くなっており、大変憂慮すべき状況である。

市としては市民生活に直結するこれらの対策について、関係機関との連携をより密にして、啓発活動や環境整備などの取り組みを強化したい。

また、交通事故の件数は年々減少しているが、今年はまだ6名の方が亡くなっており、大変憂慮すべき状況である。

～ とくしげ政時 後援会入会の御案内 ～

● 後援会規約

1. この会は「とくしげ政時後援会」と称します。
2. この会は、とくしげ政時の政治活動を支援し、合わせて、会員相互の親睦と協力を促進することを目的とします。
3. この会は目的達成のため、研修会・後援会・出版物の発行などの活動を行います。
4. この会に必要な経費は、会費・寄附金などの収入によってまかさない。

● 連絡先

電話番号 0848-62-5804 (ファックス兼)  
e-mail masa.tokushige@gmail.com

● 県道 24路線 (174km)

● 市道 3, 780路線 (1,439km)

● 三原市が維持管理を担う道路の路線数と総延長

の路線数と総延長は、文末に掲げた通りとなりますが、皆さまから本市に寄せられている要望を一つでも多く叶えるよう、今以上に奮闘してまいります。

いる市長の決意をお聞かせください。  
答 特殊詐欺及び交通事故の防止対策は、市民が安心して快適に、また安全に住み続けられるまちづくりの